

時事新報

○正誤 去る二十一日の本欄に掲げし「政府新聞の成行」と題する一篇に付東京新聞社長より左の正誤文を送りたるは當人たる同社長の請求に任せ條例によりて茲に掲載す但同篇の論旨に於ては毫も變ずる所なし

民黨の方針

帝國議會の開議せられたる既に三回、その第一會に於ては硬派の名を以て、第二會以後は民黨の名を以て自由改進等の人々が猛烈として政府の反對に立ち爪を磨き牙を鳴らして當局者を悩ましたる一通りならず

も其志す所は單に復讐を以て非ずして自から取て政府に代はらんと欲するものなる可し所謂藩閥の弊政を掃蕩して大に内外の治務を改良せんと庶幾ふものなる可し果して斯る希望を抱く者ならんには一言一行も等閑にせずして常に自から省みる所なる可らず古今世界に理論は實勢の從者なり實勢に理論なきを憂へず理論に實勢なきを憂ふるのみ而して今の民黨は理論に富みて實勢なく政府は實勢餘りありて理論に乏しと云はざるを得ず金力なり兵力なり獨り政府の占むる所となりて之に比較すれば民黨は殆んど赤手空拳と云ふも可なり即ち一は強にして一は弱なり此強弱相對して弱者の地位を保つ法の如何す可きや唯道理に訴へて屈せざるの手段あるのみ之を論へば男女の如し若しも其間に相争ふの不幸もあらんに之を辨論に訴ふるも女子は男子に如かず之を實力に訴ふるも女子は男子に如かず男邪女正にありながら到底女子の全敗に歸せざる可らざるに似たれども却て實際に於て女子の地位を保つのみならず往々往々勝つるもあるは何の故ぞや女子は黙して言はざるなり女子は控へて争はざるなり言はず争はざるは屈したるに非ず一度び斯くも信じたる上は如何にして思返し難しとて言語態度亂れずして優しく一日にても二日にても飽くまで正理を主張して動かさざるが故に遂に男子の粗暴も挫けて最後の勝利は脆弱なる女子の收むる所となるは毎に人々の知る所ならん古人の所謂柔能剛制とは蓋し此邊の意味にして實勢なき理論の通用するは唯この一條の血路に由るのみ之に反して女子が其天賦優柔の美德を任げ男子に對して暴言暴行を加へ亂髮血相俗に云ふ武者振り付くの醜態を呈するもどありとせば千百の條理ありと雖もアツレ男子の鐵拳一撃の下に碎破せられ併せて世上の指笑を招くに下らんのみ何となれば強ひて自家の弱點を以て他の長所に當るものなればなり顧みて民黨の爲す所を見よ宛然たる亂髮血相の女子に似たりと云ふも或は當らざるに非ず本來取て代るの目的を抱き最後の勝利を得んと期する者が盡く省みて其方針を一變せざるや、今や政府は不人望にして其施政に乗ず可きの實あるにも拘はらず民黨の策拙にして常に血相女子の醜態を呈するが故に年々漸く疎外せられ一種の政狂者として冤を雪ぐに由なきが如し氣の毒なりと謂ふ可し指を屈すれば十一月の開期も遠きにあらざる民黨たるものが能く昨日の非なるを察し正理一徹取れば復た起ち波のうねり返へされ取打奇せ幾度にては行儀正しく進むとせば幾を透すの時期決して久しからざるを信するなり

復言

人を知らざるを憂ふ

孔子の曰く人の己れを知らざるを憂へず人を知らざるを憂ふとは他人の事の中々分るものでない、其人が商賈に旨ひ事をして居るか、或は商業を名にして其實は毎年毎月棚から落ちて来る牡丹餅を食して居るか、人の私事を探るは甚だ六ヶ敷きとだど聖人も秘密探偵の不行届を嘆息せられたるとならんが左なるにても又聖人の言に十目の視る所十指の指す所夫れ嚴なる哉と宜ひしは探偵不行届にても大抵世間の評判で分る、頭を匿して尻尾が出る、いくら食はぬ振振りしても

官報

○選信者告示第六十九號 來八月一日ヨリ大坂市東區南久寶寺町二丁目ニ大坂郵便電信局郵便支局ヲ置キ船場郵便支局ト稱シ同日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム 同月同日ヨリ同市大坂郵便電信局ノ内郵便支局ヲ同市南區瓦屋町五番町ニ移シ高津郵便支局ト改稱ス 明治二十五年七月二十二日 逓信大臣伯耆後藤象二郎

雜報

○專任學習院長 三浦梧樓氏谷、大島兩氏の後を襲ぎて學習院長に任ぜられ最初は就意學政の改正を計畫したるも本年三月中旬に其職を辭し岩倉爵位局長其後を兼任したるも本職の事務を執りて日々宮中に奉仕し學習院へ出頭するもその極めて稀なるより專任院長を置かれたしと希望する者も少なからず就ては近衛篤磨、徳川家達兩公爵の内專任するべしとの噂あり 第二地方部師範學校長の會議 第二地方部と稱せらるる、奥羽諸縣及び北海道の各尋常師範學校長は暑中休暇を機として北海道札幌に校長會議を催す由にて此程出張せし樺視學官も同會議に臨み手筈なりといふ 支那の労働者亞非利加に入らんとす リーフに於て始めて煙草を植附けたるに非常の好結果を得たるを以て獨逸植附會社と獨逸亞非利加會社とに土民に煙草養成の方法を教へんが爲めスマタラ又は新嘉坡地方より事に慣れたる支那の労働者數百人を呼び寄せ來るゝものに共々盡力す可しと決したり此支那人呼び寄せのみに付ては最初英政府より彼れ是れと苦情のありたるが爲め困難を感じたりとのみならず其苦情も今は止みたるを以て右労働者の東亞非利加に行くも遠きに非ざる可しと云ふ 府會議員の擧會 來る九月十五日午前八時より赤坂區に於て府會議員一名の補選擧會を開く筈なり 山陽鐵道五周年の祝に就て 山陽鐵道會社創業以來五周年に相當するを以て其祝意を表する爲め尾道三原

明治二十五年七月二十二日 東京新聞社社長 朝比奈 知 泉 京橋區山下町十八番地 時事新報社御中